

しあわせ届け隊

インターアクトクラブ

[愛知県] 高校生ボランティア・アワード2024



ねえ、知ってる？

皆様の笑顔 が 私たちの宝物

私たちは「しあわせ届け隊」です。普段、土日祝日や、長期休みを利用して保育園や、福祉施設へ訪問し、ミュージックベル・手遊び・ダンス・パルーンアートなどのパフォーマンスをしています。施設への訪問の他に、地域のイベントに携わり、活動の幅を広げています。

ここで1つ！なぜ「しあわせ届け隊」という名前で活動しているのか気になりますか？それはコロナ禍で人と接することができなくなり、気持ち沈んでる皆さんに、ボランティアを通して「笑顔」と「しあわせ」を届けたいという思いがあったからです。この思いは、部員一同の目標でもあります。目標を達成するために、実際のパフォーマンスではなく、見ている方と交流しながら、一緒に行動しています。そうすることで、見ている方から笑顔になってもらったり、しあわせになってもらったりしています。

去年は約250日以上のボランティアを行いました！

努力の賜物 ～目標・志～

私たちは多くの活動を通して、リーダーシップを養うことを目標にし、多種多様なことに挑戦しています。そのためには、顧問の先生の言う通りに行っているだけではいけません。

様々なトラブルを想定し、生徒が中心となって、全て計画を立てて行うことが重要です。具体的には各ボランティアにリーダーを配置し、イベントの大まかな流れを施設の方と決めます。そして、そのイベントに適した催しを考え、実行します。ただ、発表するだけにはならないよう、どうしても楽しんでもらえるのかを考え、参加する人たちの巻き込んだパフォーマンスをすることが、大切だと考えています。そうすることで、笑顔と共有することができ、コミュニケーション能力向上につながります。多くの人の出会いと感謝の言葉で、なにより「やりがい」や「達成感」を味わっています。他では味わえない経験ができ、皆さんの「笑顔」で毎回私たちは勇気をもらっています。

私たちしあわせ届け隊は関わった方々全員に「しあわせ」を届けることを目標に、「誰かの役に立ちたい」「皆様が笑顔になってほしい」という思いを一番に、これからも実践し続けていきます。

どえりゃ多い活動

- ～学校内～
- ・コンタクト、キャップ、切手の回収
- ・校舎清掃
- ・オープンスクール
- ・合唱(新曲・美声)
- ～ボランティア活動～
- ・昭和区サービス
- ・SAKUMACHI
- ・パルーンアート名古屋
- ・植樹クレーンアップ
- ・ウィルズマツラン
- ・ちばのこ保育園
- ・トリクマクラブ
- ・佐久島クレーンアップ
- ・福祉祭り
- ・観音堂の鳥の唄
- ・らぼーと家園 クリスマスマツ
- ・プライム赤池[工作] etc...
- ～大会～
- ・ボランティア・アワード2021(全県特別賞)
- ・愛知県高等学校文化連盟、ボランティア専門部2021(優秀賞)
- ・愛知県高等学校文化連盟、ボランティア専門部2023(優秀賞)

2大プロジェクト

～鶴間公園での活動～

私たちの学校の近くには鶴間公園というとても大きな公園があります。これまで、鶴間公園の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたいという思いで、鶴間公園ガイドツアーやブースの出店など、多くのボランティア活動を行ってきました。鶴間公園の活動を通して、地域の方と関わることを目標に取り組んでいます。

その中でも力を入れているのは、花しょうぶ栽培プロジェクトです。このプロジェクトは、「私たちの学校がある名古屋市昭和区の区のお花である花しょうぶをたくさんの人に知ってもらおう」という目標を掲げています。私たち自身が主催として、なんと15年も前から続いているんです。また私たちだけではなく地域の方々と一緒に行動しています。しかし、これを行うにあたり、大きな悩みがありました。それは、花しょうぶの知識がありませんということ。このボランティアを行うときは1年生にとって初めてのボランティアになります。そのため、花しょうぶのことが分からず質問されても答えられないということがありました。このことから、私たちは花しょうぶの専門家の方に教えてもらい、自分たちで何度も現地に行き、さらに勉強するようになりました。花しょうぶの知識が付いたことで地域の方々と交流をより楽しむことができました。

肩もみ+コミュニケーション =肩もみコミュニケーション

～肩もみを通して～

コロナ禍で、ボランティア活動の幅が狭くなってしまいました。しかし、活動が減っているからこそ、これからの新しい活動で、何をしたいかと考える時間を確保できました。そんな時に、誰にでもできて、道具も必要がない、肩もみボランティアを行おうと思いつきました。しかし、肩もみに関しては初心者なので、肩もみ世界チャンピオンの長谷川さんに手順を教わりました。

目標としては、肩もみも大事ですが、それ以上に、コミュニケーションをとることを心掛けました。

呼び込みも自分たちで行うことで、来てくださる方の年齢層がわかります。だいたい、30歳からのお客さんは確保していますが、子連れの方があまりいらっしゃらない事に気が付きました。肩もみ中は動くことができないことで、子供の面倒が見られないことが、原因だと私たちは考えました。

どうしたら、親子どちらにも楽しんでもらえるのかと悩んだところ、活動の一環でもあるパルーンアートを子供たちと作ることにしました。

その結果、お父さん、お母さんに以前よりも会話や肩もみに集中していただくこともでき、さらに、子供とも関わる機会を得ることができました。

挫折=成長

ボランティア活動をするにあたって、私たちがつまずいたのは「経験の無さ」でした。ボランティア未経験の生徒が多く、何をやっていいのかわからなかったり、積極的に交流ができませんでした。また、ボランティア先の方が小さい子からお年寄りまで幅広く、年齢に応じた対応をすることに戸惑うことが多かったです。

なかでもリーダーが特に大変でした。なれない電話や大人との会議は経験のない私たちにとても難しく、また、当日の流れを決め、全ての指示を出すことは大きな負担になってしまい、納得のいくボランティアができずに悔しい思いをすることもありました。

この悔しさをなくすため今の自分たちに足りないところを見つけ、知り、次に向けてより良いものを作れるよう、ボランティア後に反省会を実施しています。部員同士のコミュニケーションをとる機会を増やしたことで、日々の練習やボランティア先での悩みを相談し合えるようになり、抱えていた不安や負担を減らすことができました。

皆様に 笑顔としあわせを 届けます！！

私たちの目指す場所 ～でらできゅー夢～

私たちはエコキャップ回収を行っています。校内や、鶴間公園、佐久島などへ行き、ゴミ拾いを通してエコキャップを回収しています。その目的としては、SDGsに取り組みたいです。

このように回収したものは、ひとつひとつ数を数え、工場へ運びワケチンに変えています。しかし、形や大きさなどが違うことにより、回収できないものもあります。そこで、回収できなかったものを活用することはできないのだろうか、と部員一同で考えた時に見つけたのが、プラごみでアクセサリを作る「soboron」という企業でした。

販売されているアクセサリの多くは捨てられなくなったキャップもリサイクルしたいと思いました。私たちは「soboron」と協力し、回収できないキャップでアクセサリを作り、販売して使えないキャップを少しでも減らそうと考えています。

また、私たちの目標はより多くの人に「しあわせ届け隊」について知ってもらい、ボランティア活動に参加する人を、増やすことです。実際、身の回りの方でも私たちの活動について、知らない人がたくさんいます。そのため、全国大会など多くの大会に出場をし、結果を残すことで「しあわせ届け隊」について知ってもらいたいです。



活動団体プロフィール

私たちは笑顔としあわせを届けることをモットーに「しあわせ届け隊」として年間約250日以上のボランティア活動を行っています。

主に、福祉施設や保育園などへ訪問し、手遊びやパルーンアートを通して交流しています。

最近では以前よりもさらにパワーアップしたマジックを練習しています。

さらに、地域と連携し、お祭りや社会福祉協議会と協力した活動も行っています。

この活動を始めて29年目になります。これからも先輩から受け継いだ伝統を大切にしながら、私たちが頑張り、挑戦し続けます。



花しょうぶ →昭和区の花

私たちが植えました！

